令和四年八月一日　信者心の道勉強会

神　　示

今日　社会に欠けるものは　人たる人の「心の真理」
知識を学び　努力を信じて
　どれほど多くの人々が　人生を枯らし　夢持てずにいるか
信者に申す
「教え」を学び　「真理」を通して　社会を見詰める思いを強く持つ
この思いが深まるほどに
　心の迷いは治まり　「正道」を歩む思いが強くなる
知識に「心」振り回されず　的を射た努力ができる
「教え」の基に「心の真理」がある
「教え」に気付きを得て　人間は　社会を正しく得心する
今日　人々は「心の真理」を欠き　真理なき思いを語り合う
よって　結論が見えない
人生の基本は　「教え」に気付きを得て
　「教え」を人生の支えに生きることで　見えてくる
「人生」のあるべき道に悟りを深めて
　人間は　心正しく社会に奉仕する思いが持てる
有限の時代を「生きる」人生の基本に気付いて
　「真理」に生きる人間を目指すべし
「真理」求めて生きる人間は皆
　神の手の中「心」運命磨かれ　「実体」を高めてゆける
我が家庭や「心の道」は　太くつながり
　家族一人一人の人生も　悟りを深めて行く